

Cure and Care communication

C&C コミュニケーション

第80号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



医療法人ピーアイエ

ナカムラ病院

介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所

新入職員 8名に聞きました

ズバリあなたのもち味は...



✿ B3病棟 介護職
新本 美友

どんな時も笑顔で対応すること



✿ B5病棟 看護職
原田 侑茄

全てが勉強だと思って、看護師として成長していけるように頑張ります！



✿ B6病棟 看護職
小笠原 希

何事も前向きに頑張るところ



✿ B6病棟 介護職
香川 益穂

何事も真面目に取り組むところ



✿ A3病棟 看護職
大霜 瑞基

明るくお調子者なところですが、まだ出来ない事ばかりですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



✿ まいえ1 介護職
松尾 真希

楽しく元気なところ



✿ 医療福祉相談員
中川 里佳子

ポジティブ思考です。何事にも前向きに取り組みたいです。



✿ 医事課
山崎 望

切替の早さです。失敗したり、辛いことがあっても反省しつつ、すぐに気持ちを切り替えて前を向ける事です。



看護部長就任あいさつ

この度、平成二十六年四月一日付けで病棟科長を経て看護部長に就任いたしました。これまで以上の責任の重さを感じております。平成二十四年厚生労働省は、「認知症施策推進五カ年計画」オレンジプランを策定し、認知症高齢者が一般病院や精神科病院に入院しても在院日数を短縮化、自宅での生活に戻れる地域ケアシステムの構築を目指すことを明らかにしました。しかし、近年急性期医療における治療の過

程で、高齢者の患者さまは心身共にさまざまな侵襲を受けるため、せん妄によるBPSD(行動障害)や合併症を起こしやすいため、増悪を起し在宅生活が困難となられた患者さまを受け入れ、一人ひとりの患者さまを尊重し心温かく寄り添い、安全で質の高い看護を提供していくことが期待されており、職員全員の知識向上を図る教育支援システムを構築し、新人看護職員研修・医療安全・感染予防・接遇等に力をいれ

てまいります。また、多様なニーズに応え二十四時間交代で働く医療スタッフの健康で働き続けられる環境も大切です。私は、質の高い労働環境が質の高い看護ケアにつながると考えております。看護師が笑顔でやりがいを感じながら、活き活きと働けるためのワークライフバランスを推進し、バーンアウトすることなく働き続けられる職場づくりにも取り組んでまいります。地域の皆さまに信頼される病院としてこれからは、今後ともよろしくお願

いたします。



ナカムラ病院

看護部長 敬子

看護部長退任あいさつ



平成二十六年三月三十一日をもちましてナカムラ病院を退職するにあたり、

看護部長を退任することになりました。昭和五十三年十二月六日の開院から三十五年余の永きにわたり理事長はじめ皆さまには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。また平成十四年七月からの看護部長在任中は至らぬことも多々あつ

たと思いますが、皆様のあたたかいご指導とご協力により大過なく勤めさせていただき感謝しております。三十五年余といえども過ぎでしまえばあつという間のようです。縁あつて中村病院にお世話になるとき、また白衣を着て看護ができるとうきウキしたことを覚えております。昭和五十七年に認知症高齢者を対象とした精神科病棟が開設されたとき、当時の八道婦長と一緒に配属されました。二人とも全てが初めての事で、重度の認知症の患者さまをどう介護していけばいいのかわからず手探りの状

態でした。そんなときに受けた研修で、「説得より納得、患者さまのペースにあわせる、患者さまの言動を受容し理解する」というケアの原則を知り、やっと光が見えたという思いでした。この経験がその後の私の高齢者ケアの原点になっていきます。平成五年十一月の新館病棟開設、平成十二年七月のB棟完成、平成十三年十月最初の機能評価受審等、その節目々に関わりその都度沢山の学びを得ました。また機能評価を受けることで看護部門の組織作りの大切さを知りました。微力ながらシステム

作りや人材育成に取り組んできましたがまだまだ道半ばです。医療や看護を取り巻く環境も「治療」から「生活を支える医療」へと、「施設」から「在宅」へと大きく変わります。時代のニーズに添ったより高い専門性が求められる中、課題も山積してきます。より良いケアを提供するために看護部の充実が不可欠です。今後を次世代の若い力に託し、ナカムラ病院の発展を陰ながら応援したいと思っております。本当にありがとうございました。

三浦 由紀子

地域における包括的・多面的な支援を実現する高齢者の中核機関として平成十八年四月に設置されました。



当センターは、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続することができるよう、保健、医療、福祉サービスをはじめ、さまざまなサービスを必要に応じて提供し、

今年度で九年目を迎えます。年々相談が増えておりまして、平成二十四年度は四千件を超えております。皆さまがより暮らしやすく、安心して生活できる地域を目指して、生活に必要とされる情報や各関係機関と連携を取りながら、日々活動を行っておりますので、ぜひご活用していただければ幸いです。

当センターは広島市から委託を受けて五日市観音西地区、五日市観音地区、八幡地区を担当しています。各地区の高齢化率は、五日市観音西二二・七%、五日市観音二〇・八%、八幡二六・三%となっております(平成二十五年三月調べ)。

当センターの事業の内容ですが、四つの事業を行っております。「さまざまな相談ごと」「介護や健康のこと」「権利を守ること」「関係機関とのネットワークづくり」です。この四つの事業を持って当センターは高齢者の方々の生活をサポートさせていただきます。

長に就任しました吉田隆宏と申します。



初めまして。この度広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

センター長就任挨拶

城山・五日市観音地域包括支援センター



当センターには主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士の三職種が配置され、協力しながら高齢者の皆さまそしてご家族の相談に対応させていただきます。三職種のみならず、医療機関や介護サービス事業所、そして地域にある皆さまと連携を育みながら、対応させていただきます。今後もしろしくお願い申し上げます。

城山・五日市観音地域包括支援センター
センター長 吉田 隆宏



2014年度 新入職員研修

- 理念・基本方針
- 就業規則・給与規程・職務規定・社会保険等
- 個人情報保護について
- 施設利用者の人権・医療・福祉関連規則について
- リスクマネジメントについて
- 人事制度ガイダンス
- 施設見学
- 院内広報誌について
- 自己発動研修
- 接遇研修
- 標準予防策・経路別予防策・手指衛生
- 高齢者の栄養管理について
- 行動制限について
- 認知症について
- 施設内感染について
- 歯科の役割・口腔ケア・義歯洗浄
- ケア技術研修
- 骨折等外傷予防のための基本的注意事項
- 認知症コミュニケーション
- 看護技術研修

陽光の家通信

【豆まき】

二月三日(月)は節分の日。陽光の家では職員がお手製の衣装をつくり「鬼」に扮して、豆まき大会を開催いたしました。ひょうきんな動きの鬼は施設内を歩き回り、豆を見立てたボールを投げながらも入所の方々は終始笑顔でありと



ても印象的な姿でした。普段も笑い声が絶えない施設生活ですがこの日はより一層笑い声が大きく楽しいひと時となりました。「笑う門には福来る」今年も福を呼び込むべく笑顔で過ごして行きたいと思えます。

陽光の家では今後も季節感を大切にし季節ごとの行事を行い、皆さまから愛される施設づくりを目指したいと思えます。また、皆さまのご意向に沿えるような企画運営をしていきたいと思えますのでよろしくお願い致します。

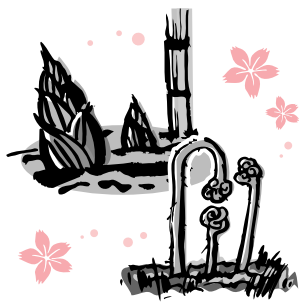
特別養護老人ホーム 陽光の家
生活相談員 佐々木 雄治

栄 養 の お 話

少しずつ暖かくなり、おひさまの光も明るくなりました。もう春ですね。

冬の厳しい寒さに耐えてしっかり栄養をため込んでくれた野菜達は、身体にたまった老廃物を排出してくれる事をご存じでしたか？ 特に、苦みの強い山菜には新陳代謝を活発にさせ、身体をすっきりと目覚めさせてくれる成分が含まれています。冬の身体から春の身体へとスムーズに移行させてくれ、次に訪れる暑い夏を乗りきる身体を作ってくれているのです。

新しい春がやって来ました♪ 大地がくれた季節の恵に感謝しながら、春野菜をしっかりと食べて体調管理に役立てていきたいですね。



ナカムラ病院 栄養科主任 長村 悦子

つばいこぼれ話

生け花の巻

つばいでは、利用者さまの生活歴を活かしたケアに取り組んでいます。先日、「お花を見ると腕が鳴ると言わずして腕が鳴るのよ」と、得意の生け花を披露して下さいました。



▲お花を見ると腕が鳴ります！

グループホーム つばい
ホーム長 川部 明美



「こぼれ話、もう少し撓らないとね」と慣れた手つきでこなされ、利用者さまの表情は活き活きと輝いていました。職員も教えていただきながら、ハサミで花をパチンと切ると、「ああ、切り過ぎ！」と。そのような姿を見るのが、利用者さまどうしの刺激や活力につながっているのだと思えます。

シリーズ全4回

第1回

『陽光の家』の在宅サービス部門の紹介 ～陽光の家居宅介護支援事業所の紹介～

今年度は、社会福祉法人 双樹会 『陽光の家』の在宅サービス部門の紹介をします。第1回は『陽光の家居宅介護支援事業所』です。

「家居介護支援事業所」は、介護支援専門員(ケアマネジャー)が所属し、在宅サービス利用の手続きや調整を行う「要」「旗振り」のような存在です。当事業所では現在、要介護1～5の利用者さま約110名、要支援1・2の利用者さま約60名のケアマネジメントを実施させていただいております。

その提供にあたっては、次のようなことから法律で定められており、高齢者の制度・介護・地域社会資源等に精通し適切な対人援助技術ができることが求められています。



定義

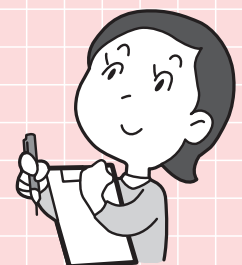
- ①利用者さまが可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行われるものでなければならない。
- ②利用者さまの心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者さまの選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われるものでなければならない。
- ③家居介護支援の提供にあたっては、利用者さまの意思及び人格を尊重し、常に利用者さまの立場に立って、公正中立に行われなければならない。
- ④市町村・地域包括支援センター・介護保険施設等との連携に努めなければならない。

管理者(門脇)から一言

『陽光の家居宅介護支援事業所』には6名(兼務者を含む)の介護支援専門員が所属し、365日体制で支援に応じています。住み慣れた地域でその人らしく生活できることが最高の幸せだと我々は考えています。その生活のお手伝いを今後も支援します。

～平成25年度利用者さま満足度調査から抜粋～

- 介護保険制度を利用するようになり、一人でいろいろ困ったことがあり不安でしたが、ケアマネジャーの方に親切にいただき安心です。
- ご来訪いただくことでとても安心で心強い思いがし感謝しています。
- 普段の生活が過でしやすくなり精神的に楽になりました。介護者の負担も軽くなり、介護される側も気持ちがいい様子です。
- 介護保険制度を利用するようになり本人も少し元気になったように思います。
- 症状が進んでいく中で、いろいろなサービスを利用させていただけるので、家族の介護負担も減り、気持ちも楽になり助かっています。



平成25年度 院内研修報告

研修委員会では毎年さまざまな院内研修を企画しています。ここでは昨年度行った院内研修をご報告致します。

4月	● 個人情報保護法について
5月	● 歯科関連異物の誤飲・誤嚥について
6月	● 輸液ポンプ・リスクマネジメントについて ● 介護保険について ● 全国介護老人保健施設大会リハーサル ● 施設内感染・安全衛生について
7月	● 腰痛予防のための介護技術研修 ● 交通安全講習会 ● 当施設の防災体制について
8月	● 看護・介護職で行う回想法 ● マットレス(エアマットを含む)の寝比べ研修
9月	● 輸血・血液管理について ● 感染標準予防策・手指衛生について ● 褥瘡について ● 高齢者ケア・コミュニケーション技術について ● ケアプランについて ● 全国介護老人保健施設大会報告会 ● 薬の説明会①「鎮痛薬について」

10月	● NST研修 摂食嚥下を考える ～“食べたい”を支えるチームアプローチ～ ● 普通救命講習 ● 栄養摂取法について ● 行動制限について ● 日本慢性期医療学会全国大会リハーサル
11月	● 防犯講習 ● 車椅子・クッションの使い方について ● インフルエンザについて ● 施設利用者の人権・精神保健福祉法について
12月	● パーソンセンタードケアについて ● 食事時のポジショニングについて ● 日本慢性期医療学会全国大会報国会
1月	● 医療の安全に関する研修 ● ノロウイルスについて ● 接遇研修
2月	● 認知症について
3月	● 認知機能検査について ● 高齢者に多い口腔粘膜疾患について ● 薬の説明会②「救急カートの薬剤について」

※上記以外にも「インシデント検討会」「考課者研修」「研究発表会」「症例検討会」「骨折等外傷予防のための基本的注意事項」「開口障害を認める方への口腔ケア」「新人研修」を定期的に行っています。

のびのび イキイキ 回想法



みなさん、この写真を見て何に使うか分かりますか？ 実はこれ、当院の精神科病棟で行われている「回想法」で使用する道具なんです。

回想法とは昔の出来事を思い出し、人と語り、共有し、伝承するという『心の作業』の一つです。認知症高齢者の回想法には次のような効果があると言われています。

- ① 認知面
 - ・ 昔の記憶など比較的保たれやすい能力を活性化する
- ② 情動面
 - ・ 自信を取り戻すきっかけとなり、生き生きとして心地よい時間を持つことができる
- ③ 対人面
 - ・ 当時の出来事や想いを共有することによって、同世代の方とのなじみの関係ができる

・ 職員にそれを伝えることで日本の文化や歴史を若い人たちに伝えるという役割的な意識を持つことができる

臨床心理士は患者さまが自身の人生を振り返り、残された人生について改めて考えるお手伝いをします。

当院ではグループで行っていますが、個人で行うこともできます。上の写真の道具については是非そばにいらつしやる高齢者の方に尋ねてみてください。答えに加え、新たな発見があるかもしれません。



【参考文献】

鈴木 正典(編) 二〇一三 認知症予防のための回想法 看護・介護に活かすアプローチ 株式会社日本看護協会出版会

ナカムラ病院

臨床心理士 道本 美有紀

いきいき行事ダイジェスト

1月

- 新年会と絵馬奉納(まいえ1)
- 初詣(つばい)
- お正月(B5)
- 手作りおやつ・鏡開き(つばい)
- 新春ゲーム大会(B7)
- 新春かるたとり大会(にぎや家)
- 新春お楽しみ会(A3)
- 初詣と絵馬作り(まいえ2)
- カルタ大会をして新年を祝いましょう(B6)
- 昼食バイキング(まいえ1・2)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 法話会【田中寺】(陽光の家)



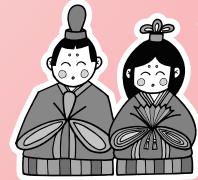
2月

- 恵方巻き作り(つばい)
- 節分ゲーム大会(にぎや家)
- 節分・ぜんざい作り(まいえ1)
- 節分・豆まき(B5)
- 外食(つばい)
- 豆まき(A3)
- スイートポテト作り(まいえ2)
- バレンタインパーティー(B7)
- ぜんざい作り(つばい)
- 作品作り(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 法話会【教専寺】(陽光の家)



3月

- ひな祭り(つばい・B6・B7・A3)
- ひな祭り【甘酒作り】(まいえ1)
- 三次人形見学(つばい)
- 甘酒作り(まいえ2)
- ひな祭り【寿司作り】(にぎや家)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 牛乳寒天作り(つばい)
- お楽しみ会(B5)
- フルーツバイキング(まいえ1)
- 喫茶ボランティア・売店(陽光の家)
- 法話会【正蓮寺】(陽光の家)



三月十九日に雛祭りとして病棟で雛祭り会を行いました。雛祭りの日からは少し外れていましたが、病棟ホールにひな壇と雛人形を飾り、カラオケをしながらノンアルコールビールやサイダー、カルピス、和菓子やお菓子などを提供し、宴会気分を楽しんでいただくとうとう今回の会を企画致しました。

最初に患者さまに乾杯の音頭をお願いし、患者さま方の中に職員も混じり乾杯をしました。普段家でお酒などを飲まれていた患者さまも現在病院では飲めないの、普段たまに耳にする「お酒が飲めたら」などの声を思い出しながら、喜ばれているのを見て嬉しく思いました。カラオ

いきいき 行事だより



ケも、いつもはマイクを持つと恥ずかしがられる患者さまでも一緒に歌うと楽しそうに歌われていました。カラオケの最後には職員も飛び入りで参加し、患者さまから沢山の拍手をいただきました。患者さまが楽しんでくださり、職員も楽しませていただきました。

最後に患者さま方に入れ替わっていた大きな雛人形と写真をお撮りしました。これからも季節を楽しんでいただける行事を企画致したいと思えます。

ナカムラ病院 B6病棟

介護職 佐藤 二美



おいしいね~!

facebook 始めました

昨年八月より医療法人ピーアイエー公式Facebookを始めました。Facebookとはソーシャルネットワークワーキングサービ

ス(SNS)の一つです。Facebookは現在一〇億人以上の人が利用しており、その規模は世界最大と言われております。当初は友人同士のコミュニケーションツールとして利用されていましたが、近年ではビジネスや就職活動でも情報伝達ツールの一つとして使われています。当院でも世界最大ソーシャルネットワークワーキングを活用し、医療法人ピーアイエーを更に身近に感じていただけたらと思いい開始致しました。近頃好評だった記事は、老人保健施設まいえで行われた鮎の解体ショー(写真①)、続いて職員親睦会の様子(写真②)、そして、普段は見ることのできない毎年恒例カレンダー展裏側の準備風景(写真③、④)。尚、掲載にあたり利用者さま、ご家族の皆さまには事前に許可をいただき、個人情報には十分に留意しております。



Facebook委員
秋嶋 依里香

Facebookを始めて日も浅いため力不足な面もありますが、医療法人ピーアイエーで日々行われている行事等をC&C編集委員いきいき委員をはじめ職員の皆と連携し、リアルタイムな情報発信を目指して更新しています。医療法人ピーアイエー公式Facebookは、当院ホームページから閲覧できるようになっています。地域の皆さま、利用者さま、ご家族の皆さまにとってより身近に感じて頂けたら幸いです。今までは違った新企画も予定しています。陽光の家公式Facebookと併せて、ぜひ一度ご覧ください。

ギャラリーで作品展をしてみませんか

病院内の美術ギャラリーで患者さまや地域の皆さまに喜んでいただける美術作品展の事業をすすめております。

「自分の描いた作品や写真などを患者さまのために…」と思われる方は美術ボランティア作家として、この企画に参加ください。

● ギャラリー使用料	無料
● 作品展示・撤去	原則使用者負担
● テレビなどへの案内・チラシ制作費	当方負担

ギャラリー顧問 赤木 博典

詳細は ▶▶▶ TEL 082-923-8333 (担当・中田)



平成26年 4月 ▶ 7月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。	
展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	4月上旬 ▶ 5月下旬 マイコレクション展 ー広島画家たちー
	6月上旬 ▶ 7月下旬 若葉園 ー趣味の三人展ー
第二展示コーナー	4月下旬 ▶ 6月上旬 五日市高校 美術・書道展
	6月中旬 ▶ 7月下旬 三瀧道子 ーワードで描いた絵ー

祝! 合格

働きながら勉強し、見事に資格を取った職員の方々です。おめでとうございます。

- 【准看護師】 粟田 朋子 武田 美香
- 【看護師】 重岡 七枝 西本 敦子
- 【介護福祉士】 河内 拓馬 友重 文香 松本 三津枝
- 【介護支援専門員】 吉田 隆宏 福山 智恵

編集後記

消費税も予定通り引き上げられ、新年度のスタートとなりました。今年度は満開の桜とともに、ピーアイエーに8名の新入職員を迎えました。C&C編集部にも前号より、新メンバーが二人加わりましたので、より一層見応えのある広報誌をお届けしていきたいと思っております。(N)

